

脱炭素電源投資と同時市場の最新論議

ーサプライチェーンを俯瞰したエネルギー需給構造の行方ー

ー講師ー

エナジープールジャパン株式会社 代表取締役社長兼 CEO

委員等受嘱の政府審議会(2024年7月現在)

- ・資源エネルギー庁 次世代の分散型電力システムに関する検討会
- ・資源エネルギー庁 ERAB 検討会
- ・資源エネルギー庁 同時市場の在り方等に関する検討会
- ・電力広域的運営推進機関 調整力及び需給バランス評価に関する委員会
- ・電力広域的運営推進機関 需給調整市場検討小委員会
- ・電力広域的運営推進機関 将来の電力需給シナリオに関する検討会

市村 健 氏

日時 2024年8月30日(金) 午後1時～3時

受講方法 会場受講/ライブ配信/アーカイブ配信(2週間、何度でもご視聴可)

会場 紀尾井フォーラム 東京都千代田区紀尾井町4-1 ニューオータニガーデンコート1F

[重点講義内容]

第7次エネルギー基本計画の議論がスタートしました。電力自由化により、エネルギー市場のセグメント化が進み、全体を俯瞰した論議が見えにくい中で、2050年カーボンニュートラルからバックキャストした2040年のエネルギー計画の在り様はどのようなものなのでしょうか？物価上昇が厳しい中で、エネルギーコスト増大を抑制する手立ては何か？国民生活と国内雇用を守るためのエネルギー政策と産業政策の融合を達成し得る道筋はあるのか？

「第7次エネルギー基本計画」の最新論議も踏まえて、今後のエネルギー市場の方向性について、資源エネルギー庁や電力広域的運営推進機関で審議会委員を務め、「エネルギー業界の憲法」と言える「エネルギー政策基本法」起草に携わった講師により、実務的な視点・中長期的な視点で解説します

1. 我が国のエネルギー政策の現在位置
2. 「第7次エネルギー基本計画」
3. 再エネ主力電源化と系統(サプライチェーン)混雑
4. 需給調整市場から同時市場へ
5. 2050年のエネルギー市場の姿
6. 質疑応答/名刺交換

PROFILE 市村 健(いちむら たけし)氏

1987年 東京電力株式会社入社。本店原子燃料部にてカナダ・ウラン鉱山権益買収プロジェクト、世界原子力協会(本部ロンドン)事務局を担務の後、本店総務部にて広報渉外・政策調査・官庁調整・危機管理業務等のエネルギー政策全般に17年に亘り従事。その間、議員立法である「エネルギー政策基本法」起草にも携わる。2014年6月 東京電力を退社。同年7月より現職。併せて、資源エネルギー庁 次世代の分散型電力システムに関する検討会 委員、資源エネルギー庁 ERAB 検討委員、資源エネルギー庁 同時市場の在り方に関する検討会、電力広域的運営推進機関 調整力及び需給バランス評価等に関する委員会、需給調整市場検討小委員会、将来の電力需給シナリオに関する検討会、資源エネルギー庁 次世代技術を活用した新たな電力プラットフォームの在り方研究会オブザーバーを務める。慶應義塾大学商学部卒。米国ジョージタウン大学院 MBA 修了。主著に「電力システム改革の突破口 DR・VPP・アグリゲーター入門」「電力セキュリティーエネルギー安全保障がゼロからわかる本」「電気の疑問 66(共著)」(オーム社)等。

